菅田中学校だより

第7号　令和8年（2026）　11月
横 浜 市 立 菅 田 中 学 校

「互いを認め合い、夢をつくる」　http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/

「合唱コンクールを越えて、人として成長するために」

校長　山口　毅

10月23日（金）の合唱コンクールでは、どの学級もこれまでの練習の成果を発揮し、体育館いっぱいに美しい歌声を響かせてくれました。一人ひとりの真剣な表情や仲間を見つめるまなざしから、皆さんの努力と成長を強く感じることができました。

私は今年の合唱コンクールを振り返るとき、「**成長**」という言葉が真っ先に思い浮かびます。

合唱コンクール本番前の3年生のリハーサルで学年合唱を聴いた際、その圧倒的な声量と一体感に大きな感動を覚えました。しかし、その感動の理由は歌の上手さだけではありませんでした。互いを信頼し、一つの音楽を創り上げる集団へと成長した姿に感動したのです。

また、ある学級の学級通信を読ませてもらう機会がありました。そこには、「○○さん、声をいっぱい出してみんなを引っ張ってくれてありがとう‥」「こうしたらいいんじゃない‥とか話し合っているところがいい‥」「□□さん‥‥指揮者をよく見ているんだと思ってすごいなぁと思いました」など、仲間への感謝や認め合う言葉が数多く書かれていました。合唱をつくり上げる過程の中で、生徒同士が互いの良さに気付き、認め合い、支え合う関係を築いていたことが伝わってきました。この学級通信にも生徒の成長を感じ、感動したのです。

近年の教育研究では、合唱のような協働的な音楽活動は、人とのつながりや幸福感を高めることが明らかになっています。特に、オックスフォード大学の研究では、一緒に歌う活動は他の集団活動よりも短期間で仲間との信頼関係や一体感を高める効果があることが報告されています。
また、山口大学教育学部での若者を対象とした研究では、合唱活動に参加した生徒の多くが、「自信が高まった」「仲間とのつながりを感じた」「前向きな気持ちになった」と回答しており、合唱が心の成長や人間関係づくりに大きな役割を果たしていることが示されています。
さらに興味深いことに、NASA（アメリカ航空宇宙局）では、宇宙飛行士の訓練の中で合唱を取り入れていると言われています。宇宙という極限環境では、高度な技術だけでなく、仲間との信頼や協調性が不可欠だからです。合唱を通して互いの呼吸や感情を感じ取り、相手を理解し、支え合う力を育てているのです。

合唱を通して、1年生は、仲間と協力することの喜びを学びました。これからは授業や係活動の中でも、自分から行動し、仲間と力を合わせる経験を積み重ねてください。2年生は、自分の役割を考えながら集団を支える力を身に付けました。その力を、自ら考え行動する学年としてさらに伸ばしてほしいと思います。
3年生は、中学校生活最後の合唱コンクールに全力で取り組みました。そこで培った粘り強さや仲間を信じる力は、これからの進路選択や人生の様々な挑戦を支える大きな財産になるはずです。

本校の学校ミッションは、「互いを認め合い、夢（幸せ）をつくる学校づくり」です。今回の合唱コンクールは、まさにその姿を体現する行事でした。一人では生み出せない響きを仲間と共につくり上げたように、学校生活においても互いを認め合い、支え合うことで、一人ひとりの成長と学級・学年・学校全体の成長が生まれます。

合唱コンクールは終わりました。しかし、本当に大切なのはここからです。合唱を通して得た感動を胸に、これからも仲間とともに学び、挑戦し、より深みのある人へと成長していくことを、心から期待しています。

防災 DAY を終えて



本校では、年間を通して災害に的確に対応できる判断力や行動力（自助力）を身につけ、災害時に他の人々と助け合いながら困難な状況に立ち向かう力（共助力）を育むことができるように防災学習を行っています。その一環として、令和８年９月２６日（土）に本校で「防災DAY」が行われました。防災DAY当日は、区役所・消防署・消防団員の方々にご協力いただきました。





１時間目は、神奈川区役所の地域防災担当者から、神奈川区の基礎データをもとにどのような災害が想定されるかお話いただきました。また、避難場所の種類や避難者はお客様ではなく自分たちで運営していくことの大切さを学びました。





２・３時間目は、地域の消防団員の方々にご協力いただき、１年生は「三角巾を使った応急手当の方法」と「ロープワーク」、２年生は「消火器の取り扱い」と「搬送法」、３年生は「心肺蘇生法」と「AED の取り扱い」について学びました。消防団員の方々の丁寧なご指導をいただき、実際に体験することで、いざというときに役立つ防災知識を身につけることができました。

また午後の部では、２年生が地域防災拠点に赴き、拠点校訓練を行いました。段ボールベッドの組み立てや備蓄倉庫内物資の確認訓練などを行い、実際に災害で避難したときに中学生がどのような役割を担うのか、拠点ごとに学ぶことができました。



生徒の振り返りアンケートの結果では、今回の活動がためになったと感じている生徒が約 98%となっていました。また「AED がないときはどうすればよいのか」や「炊き出しについて知りたい」など、被災した後の命のつなぎ方について学びたいと考えている生徒もいました。今回の学習を通して、防災の意識だけでなく、助け合うことの重要性を考えられた時間だったのではないかと思います。

大規模災害が起こった時に地域では、中学生の活躍をとても期待されています。今後も生徒が、冷静に判断し正しい行動がとれるように、必要な知識や技術が習得できるように取り組み、大規模災害が起こった時でも、学校と地域が連携、協働して乗り越えられるように防災教育を大切にしていきます。

防災 DAY 実行委員会担当

菅田中学校区学校・家庭・地域連携事業　地区懇談会のお知らせ

中学校区で学校・家庭・地域が連携し、校区の児童生徒の問題行動等の防止及び健全育成を図ることを目的として、次の通り地区懇談会を行います。今年度は「横浜プログラムを通した自分づくり」のテーマで、横浜市教育委員会事務局不登校支援・いじめ対策課の布施佐和子先生に、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を通した授業での社会的スキルの育成についてお話しいただきます。懇談会の中では、参加者の方に「横浜プログラム」を体験していただく予定です。ぜひともご参加ください。

日時　　令和８年 11 月 27 日(金)　15:00～16:30

場所　　菅田中学校体育館

＊保護者の皆様には、すぐーるにて開催通知と出席票をお送りしますので、詳細はすぐーるをご確認ください。